

ミニレター

あぜみち通信

* * * * *

平成26年11月1日

第167号

編集・発行：愛知県農業会議

農業者年金加入推進部長等研修会を開催しました

10月3日に名古屋市中区の「水産会館」において、県内の加入推進部長、女性農業委員及び農業委員会担当者を対象に、独立行政法人農業者年金基金と愛知県農業会議の共催により、平成26年度農業者年金加入推進部長等研修会を開催しました。

研修会では、中園農業者年金理事長より、農業者年金の加入資格、財政方式、保険料の自由選択、保険料の変更可能、税制面での優遇措置、担い手への政策支援、死亡一時金などの説明がありました。また、加入推進活動の説明では、農業者年金制度の認知度は新規加入者アンケートによると、「知らなかった」との回答が全体で53%、20代では73%もあり、加入の決め手では、「農業委員やJA関係者の訪問」が全体で32%、「家族からの勧め」が全体で45%で若い層ほど加入の決め手になっていることから、戸別訪問による制度の一層のPRが重要であると説明がありました。

その後、岐阜県本巣市の高田禮子加入推進部長による「私が農業者年金加入推進に取り組む理由～若い夫婦2人に支援を～」と題し事例報告を行いました。

事例報告後、農業会議の鳥居農政課長から「愛知県における取り組み方針について」説明し、加入促進のお願いをしました。

常任議員会議（10月）の審議状況及び農地現地調査等について

10月15日の午前「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る愛知県知事等からの諮問に対する答申を審議する常任議員会議を開催しました。

10月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案32件(平成25年10月39件)、16,608㎡(同16,535㎡)及び同法5条に基づく転用事案303件(同326件)、236,085㎡(同201,290㎡)についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

午後からは、転用許可農地の現地調査を西三河農林水産事務所の協力を得て実施し、西尾市及び知立市において平成25年度に農地法5条の転用許可された特別養護老人ホーム、老人短期入所施設等の新設及び有機化学工場の増築の2案件の概要、利用状況

などの説明と質疑応答を行い、施設等の視察を行いました。また、平成26年4月に農地法第5条の転用許可された西尾市内の工場の増築現場の確認も行いました。

西尾市の小野田裕二氏、倫恵氏夫妻に天皇杯受賞が決定

10月15日に平成26年度(第53回)農林水産祭において、農林水産業者・団体の最高の栄誉である天皇杯の受賞者を決定する「農林水産祭中央審査委員会」が開催され、農産部門で西尾市の小野田裕二氏、倫恵氏夫妻の天皇杯を受賞することが決定しました。

小野田氏は、水田の高度利用により、小麦、水稲、大豆合わせて延べ159haを耕作しており、徹底した省力化と適期作業の励行により飛躍的な労働生産性向上を実現し、高効率で高収益な大規模水田経営を行っています。

専門技能研修会が開催されました

10月23日～24日に東京都千代田区の「蚕糸会館」及び新宿区の「TKP市谷カンファレンスセンター」において、全国農業会議所主催による都道府県農業会議・全国農業会議所専門技能研修会が開催されました。

研修会の開会にあたり全国農業会議所の柚木事務局長から、9月に役員改選を行い新体制となっており、今後のポイントは3点である。第1は農業委員会改革での地域の農業者の代表を担保する選任制、農業委員会・農業会議・全国農業会議所の系統性の確保、意見の公表・建議機能の復活等、第2は農地中間管理事業を進める上での農業委員会役割の重要性、第3は農地台帳法定化の農地情報公開システム稼働を今年度中に実施したいので農業委員会と農業会議の連携が必要となる、協力をお願いしたいとあいさつがありました。

研修の1日目は、農業委員会組織・制度改革について全国農業会議所から改革の内容、組織としての要望や改正法案の検討状況の説明がありました。また、遊休農地対策及び農地中間管理事業の推進では説明後、長崎県、青森県及び熊本県の各農業会議から事例報告がありました。

研修の2日目は、農林水産省、各農政局及びシステム開発担当者も参加し、農地台帳の整備、農地情報公開システムの概要及び農地台帳情報・地図情報等の収集・整備等についての説明や意見交換が行われました。

機構集積支援事業による市町村巡回支援を実施しています

平成26年度第1回目の市町村農業委員会への巡回支援を、10月1日から各農業委員会事務局を対象に実施しています。

10月の実施状況は、10月1日の豊田市をかわきりに、10月には49市町村を対象に巡回支援を実施しました。

支援の内容は、農地を活かし担い手を応援する全国運動の推進、利用意向

調査とその結果に基づいた遊休農地対策、農地台帳の法定化に伴うシステム改修と公開に向けた対応等、人・農地プランと農地中間管理事業の推進に向けた取り組み、農業委員会等に関する法律の改正に向けた組織討議等、農業者等との意見交換会の開催、農業者年金の加入促進、第22回農業委員統一選挙結果等の聞き取り調査及び各農業委員会の担当者が行っている実務上の課題、問題点等の解決方法等について話し合を行っています。

今後、11月中旬までに未実施市町村と農業会議と日程調整を行い、県内全ての農業委員会を対象に巡回支援を実施する予定としていますので、ご協力をお願いします。

愛知県市部農業委員会長会秋季定例総会が開催されました

10月23日に豊川市の「豊川市勤労福祉会館」において、平成26年度市部農業委員会長会秋季定例総会が、来賓に愛知県農林水産部宮本農業振興課長を迎え、県内38市農業委員会会長の出席のもと開催されました。

総会では、「平成27年度収支予算書(案)」及び「役員改選について」の議題が提出され、予算については原案どおり承認されました。役員改選については、会長に上田名古屋市農業委員会会長が選出され、規約により会長から副会長に豊橋市及び一宮市、常任委員には尾張旭市、弥富市、常滑市、岡崎市、碧南市、豊川市、豊田市及び新城市の農業委員会会長が指名されました。

引き続き「現況証明(非農地証明)について」及び「農地転用許可の完了報告について」の意見交換が行われ、瀬戸市始め5市の取り組み状況の発表が行われました。

また、情報提供として、愛知県農林水産部農業振興課福井主任主査から「人・農地プランの作成・更新について」と題して、人・農地プランの作成状況、作成内容等の説明がありました。

午後から、豊川市ジオスペース館で第4回国際科学映像祭ドームフェスタで人気投票2位を受賞した、豊川市制70周年記念番組の「豊川からアルマ望遠鏡へ 宇宙へ続く道」を観賞しました。

農業者年金巡回相談を実施しました

10月17日に「安城市役所」において、農業者年金の受給を目前にした方を対象に、受給の手続、経営移譲の方法などの説明や個別相談等の巡回相談を行いました。

巡回相談には待期者4名が出席し、農業会議の麻生主任から受給手続の流れ等の説明を受け、個別相談を行いました。

巡回相談は希望があれば少人数でも対応しますので、農業会議にご相談ください。

また、農業者年金基金では、昨年度から「加入者累計13万人に向けた前期3ヵ年運

動を行っています。本県の目標は、20～39歳が124人、全体で188人となっており、重点市町村を定め加入推進を図っています。11月から3月までを加入推進強化月間としていますので、チラシの配布や戸別訪問などを集中的に実施していただき目標達成に向けた取り組みをお願いします。

「農の雇用事業（平成26年度第4回募集）」の事業参加者募集

農業分野での雇用を創出し、新規就農者の確保・育成を図るため、農業法人等が就農希望者を正規社員として雇用し、農業技術等を習得させるための実践的な研修（OJT）を実施する場合、経費を助成する「農の雇用事業」を実施しています。

この度、平成27年2月からの研修助成を対象として事業参加者を募集していますので、農業法人等への周知につきご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

なお、「被災者向け農の雇用事業」も同時に募集しています。

＜ 助 成 額 ＞ 年間最大120万円、最長1年間

(2年目の支援については別途予算措置後実施予定)

＜ 募集期間 ＞ 第4回募集（平成27年2月1日研修助成開始分）
平成26年11月1日(土)～平成26年12月6日(金)

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/nounokoyou/>

今後の主な行事予定

- 11月 4日 農業会議創立60周年記念大会（ウィルあいち）
- 11月 7日 農業委員会事務研究会理事・監事会（水産会館）
- 11月 7日 農業委員会事務研究会総会（水産会館）
- 11月 7日 農業委員会職員等研修会（水産会館）
- 11月12日 新城設楽支部農業委員会長・局長会議、常任議員互選会（設楽町）
- 11月13日 女性農業委員特別研修会（水産会館）
- 11月18日 常任議員会議（三の丸庁舎）
- 11月18日 稲作経営者会議第2回役員会（中区）